

除湿機の選び方

梅雨から夏にかけて、**快速に過ごすのにおすすめなのが除湿器**です。除湿器には、梅雨時から夏場の蒸し暑さやカビ対策と冬の結露対策として使うもの、そしてその併用型の3タイプがあります。季節によって効果的な除湿器はどのタイプなのか、**その特性をご紹介します。**

除湿方式の違い

●コンプレッサー方式は、梅雨～夏に威力を発揮

コンプレッサー方式は、エアコンと同じで、冷却機で除湿をします。消費電力は小さいですが、コンプレッサーのため**振動音がやや大きい**です。室温上昇が1～2℃程度で、除湿量も多く**広い部屋向き**で、梅雨から夏場の蒸し暑さ対策としておすすめです。

●デシカント(ゼオライト)方式は、冬におすすめ

吸湿剤で除湿するデシカント方式は、ヒーターが発熱するため室温が3～8℃程度上昇します。そのため夏より冬の結露対策におすすめです。ヒーター使用のため消費電力が大きいのですが、**軽量コンパクトで静か、結露が付きやすい寝室などの使用に有効です。**

●両方を兼ね備えた、ハイブリッド方式

メーカーによっては、デシカント方式とコンプレッサー方式を組み合わせたハイブリッド方式が出ています。パワフルで安定しています。1年中使いたい方にはおすすめです。その分価格も高く、**大きさも大きくなります。**



電気代について

除湿器の電気代の目安は、1kW当たり約22円で、適用面積の狭い小型機種でも200Wは消費します。その場合1時間当たり約4.5円の電気代がかかります。コンプレッサー方式とデシカント方式では1:1.5でデシカント方式の方が電力は使いますが、それでもコンプレッサー方式は冬場に弱いのでデシカント方式をおすすめします。

◆比較表

	コンプレッサー方式	デシカント(ゼオライト)方式	ハイブリッド方式
長所	消費電力が少ない	本体が軽い	季節を問わず除湿力が安定
短所	本体がやや重い	消費電力が多め	価格がやや高め
気温上昇目安	1～2℃前後	3～8℃前後	1～8℃前後
ポイント	高温時に効果的 夏場に最適	低温時でも安定稼働 冬の結露対策に	季節を問わずパワフル 除湿、部屋干しに

『260号室内干しのコツ』 『248号お部屋の空気浄化と脱臭術』 『237号涼しい夏はアイデア次第』 『236号梅雨の住まいを快適に!!』
『226号草盆栽で涼しげな部屋づくり』 『200号すまいの湿気対策』 『193号まめな換気で爽やかに過ごす』
『190号涼しく見せるインテリア』 『178号涼を呼ぶ方法』もあわせてご覧ください。

バックナンバー

上村建設

<http://www.e-uemura.jp>

住まいの宝箱

<http://www.e-juutaku.com>

賃貸物件をお探しの方は

<http://www.happy-house.co.jp>

★詳しいお問い合わせは各支店まで。電話番号は裏面をご覧ください。